



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和3年9月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和3年9月6日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 県内3例目の豚熱発生に伴う養豚農家への聞き取り調査結果をお知らせします(資料1)
- 2 高齢者運転免許証自主返納支援事業において介護タクシーの利用が可能になりました(資料2)
- 3 渋川市総合公園陸上競技場のネーミングライツ契約を締結しました(資料3)
- 4 世界アルツハイマー月間における認知症に関する普及啓発事業「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」を開催します(資料4)
- 5 食品ロス削減推進の動画を撮影しました(資料5)
- 6 「共生社会ホストタウンサミットin福島」に渋川市が参加します(資料6)

その他資料提供

- ・渋川市長登庁式を開催します(資料7)

○次回開催予定

日時：令和3年9月13日(月)午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
9月6日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
9月7日(火)				
9月8日(水)	15:00	第59回渋川広域圏内発明くふう展審査会	勤労福祉センター	商工振興課
9月9日(木)				
9月10日(金)	16:00	庁議	庁議室	秘書室
9月11日(土)	13:00	共生社会ホストタウンサミットin福島(オンライン)	記者会見室	政策創造課
9月12日(日)				
9月13日(月)	9:00	市長登庁式	本庁舎北側駐車場	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室

資料1

担当：産業観光部農林課 課長 牧 伸治 電話0279-22-2593 内線4971

県内3例目の豚熱発生に伴う養豚農家への 聞き取り調査結果をお知らせします

令和3年8月7日（土）、県内3例目となる豚熱の患畜が桐生市で確認されたことを受け、市内養豚農家から豚熱ワクチンの接種状況及び防犯カメラの分析状況等の聞き取り調査を行いました。その調査結果をお知らせします。

1 背景

令和3年8月7日（土）、桐生市において県内3例目の豚熱患畜が確認されたことを受けて、渋川市家畜伝染病防疫対策本部会議を開催しました。その会議において、市の今後の対応の一つとして、養豚農家の豚熱ワクチン接種状況及び防犯カメラの分析をヒアリングすることになりました。このほど、ヒアリングが終わりましたので結果を報告するものです。

なお、市は市内養豚農家に対し、飼養衛生管理基準の再確認、遵守徹底を依頼する文書を発出し、併せて緊急防疫対策として消石灰及び消毒液の無償配付を行いました。

2 聞き取りをした農家 24戸

3 聞き取りをした期間 令和3年8月19日～23日

4 聞き取り結果

(1) 集計結果 別紙（資料3ページ）のとおり

(2) 農家からの声

ア 子豚へのワクチン2回接種について

- ①是非2回接種を進めてもらいたい。
- ②抗体検査で2回目の接種時期を判断すべきだ。
- ③抗体検査で最適な接種日齢を見極めることができれば、1回の接種で済むのではないか。
- ④小規模農場では人手、費用の関係から2回接種は厳しい。
- ⑤国にはよく研究してほしい。

イ 殺処分について

- ①ワクチン接種済農場では全頭殺処分は不要であり、豚舎ごとにすべきだ。
- ②ワクチン接種済の豚は殺処分しなくてよいと思う。
- ③埋却地は地域住民への理解を求めるのは難しい場合があるため、レンダリング処理を増やすべきだ。

ウ その他

- ①家畜保健衛生所のアドバイスを聞き、やれることは全てやっている。
- ②飼養衛生管理基準の遵守だけでは防ぎきれない。
- ③ネズミなど小動物の捕獲器を設置して対策をしている。
- ④農家が自ら豚熱ワクチンを接種できるようになれば、小回りがきいてよい。

5 市内の養豚農家数等 (令和2年2月1日現在)

	渋川	子持	赤城	北橋	計
農家数	3戸	4戸	11戸	6戸	24戸
飼育頭数	3,157頭	15,044頭	40,806頭	16,068頭	75,075頭

6 これまでの家畜伝染病関係会議の開催経過

年月日	会議名	概要
H31. 2. 13	平成31年度第1回家畜伝染病防疫会議	長野県での豚熱発生を受け開催
R元. 9. 14	令和元年度第1回家畜伝染病防疫会議	埼玉県での豚熱発生を受け開催
R元. 9. 14	令和元年度第2回家畜伝染病防疫会議	追加の緊急対策を検討
R元. 10. 4	令和元年度第3回家畜伝染病防疫会議	県内初の野生イノシシ陽性確認を受け開催
R2. 9. 26	令和2年度第1回家畜伝染病防疫対策本部会議	高崎市での豚熱発生を受け開催
R2. 9. 28	令和2年度第2回家畜伝染病防疫対策本部会議	市内発生の対応を協議
R2. 12. 24	令和2年度第1回家畜伝染病防疫会議	千葉県での高病原性鳥インフルエンザ発生を受け開催
R3. 1. 25	令和2年度第2回家畜伝染病防疫会議	本市の対応経過、対策の検討
R3. 3. 12	令和2年度第3回家畜伝染病防疫会議	対策本部班体制の見直し検討
R3. 4. 2	令和3年度第1回家畜伝染病防疫対策本部会議	前橋市での豚熱発生を受け開催
R3. 4. 7	令和3年度第2回家畜伝染病防疫対策本部会議	職員派遣の協議
R3. 5. 19	令和3年度第1回家畜伝染病防疫会議	栃木県での豚熱発生を受け開催
R3. 7. 9	令和3年度第2回家畜伝染病防疫会議	神奈川県での豚熱発生を受け開催
R3. 8. 8	令和3年度第3回家畜伝染病防疫対策本部会議	桐生市での豚熱発生を受け開催

聞き取り集計結果

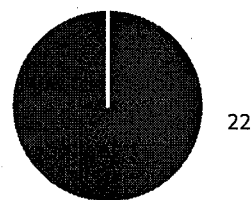
1 豚熱ワクチンの接種状況（適切な時期に接種できているか）

回答	人数	割合
接種できている	22	100.0%
接種できていない	0	0.0%
計	22	100.0%

ワクチン接種戸数=22戸

※聞き取りをした24戸のうち2戸は、接種済みの豚を預かって飼育している養豚農家です。

豚熱ワクチンの接種状況（適切な時期に接種できているか）



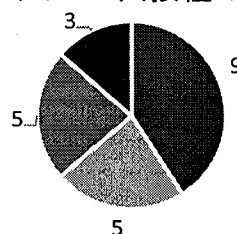
■ 接種できている ※ 接種できていない

2 子豚へのワクチン2回接種の必要性

回答	人数	割合
2回接種すべき	9	40.9%
2回接種は必要だが抗体検査で接種時期を判断すべき	5	22.7%
抗体検査で接種時期を最適化できれば1回で済ませたい	5	22.7%
その他	3	13.7%
計	22	100.0%

ワクチン接種戸数=22戸

子豚へのワクチン2回接種の必要性



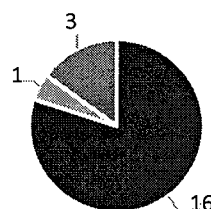
■ 2回接種すべき
■ 2回接種は必要だが抗体検査で接種時期を判断すべき
■ 抗体検査で接種時期を最適化できれば1回で済ませたい
■ その他

3 防犯カメラの分析（野生動物等が映っていないか）

回答	人数	割合
映っていない	16	80.0%
キツネ	1	5.0%
野良ネコ	3	15.0%
計	20	100.0%

防犯カメラ設置戸数=20戸

防犯カメラの分析（野生動物等が映っていないか）



■ 映っていない ※ キツネ ■ 野良ネコ

令和3年8月10日

群馬県知事 山本 一 太 様

渋川市長 高 木 勉

CSF（豚熱）感染拡大防止に係る要望書

CSF対策につきましては、全国に先駆けた民間獣医師による知事認定獣医師制度の構築や、野生イノシの経口ワクチン散布や捕獲強化など、積極的な取り組みを勧めていただいております、厚く御礼申し上げます。

このような中、8月7日、桐生市内の養豚場で県内3例目のCSFが発生しました。

これまでの2度の県内感染事例に合わせ、市では、豚舎周辺の監視カメラの設置助成や消毒資材の配布など様々な対策を講じており、各養豚農家においてもワクチンの接種、飼養衛生管理基準の徹底など厳格な感染防止体制を整えてきました。

しかしながら、現行の生後50日から60日の接種基準では、母豚からの移行抗体がなくなる時期に個体差があるため、完全な防御が難しいとの声が寄せられています。

つきましては、下記のとおり、抗体の空白期間が生じないように子豚に対するワクチンの2回接種をお願いするほか、ワクチンの接種が進んでいることから、万が一CSFが発生した場合においても、全頭処分ではなく発生豚舎のみの殺処分としていただくことを国に要望いただきますようお願いいたします。

記

- 1 子豚に対するワクチンの2回接種の検討
- 2 殺処分における、発生農場全体から発生豚舎への検討

資料2

担当：市民環境部市民協働推進課 課長 生方 茂樹 電話0279-22-2463 内線4314

高齢者運転免許証自主返納支援事業において 介護タクシーの利用が可能になりました

渋川市は、運転免許証を自主返納した高齢者に対し、申請に基づき、タクシー利用券等を交付しています。このタクシー利用券の利用について、今まで一部の事業者に限ってありましたが、新たに、介護タクシーの事業者も対象とするものです。

利用は、令和3年9月1日（水）から可能となっています。

1 概要

渋川市は、運転免許証を自主返納した高齢者に対し、申請に基づいてタクシー利用券等を交付しています。

このタクシー利用券の利用について、今まで一部の事業者に限っていましたが、社会情勢の変化に伴い、介護タクシーの需要が増加してきており、市民から要望が寄せられていました。そのため、群馬県タクシー協会渋川地区会と締結している協定を廃止し、新たに、それぞれの事業者と協定を締結することで、タクシー利用券の利用ができるようにしました。

2 利用開始 令和3年9月1日（水）から

3 協定締結事業者（五十音順、敬称略）

<今まで>

- ・関越交通（株）
- ・群北第一交通（株）
- ・日本中央交通（株）

<追加>

- ・おがた社会福祉事務所
- ・ハッピーハート渋川

4 渋川市における65歳以上の運転免許証返納者数（暦年）

- ・令和2年＝381人
- ・令和元年＝430人
- ・平成30年＝357人

参考

高齢者運転免許証自主返納支援事業

1 目的

高齢者の運転免許証自主返納の促進による高齢者の交通事故の未然防止及び公共交通の利用を促進し、安全で安心な交通社会の実現を図る。

2 対象者

所有する運転免許証に記載されるすべての免許を自主的に返納した人で、次のいずれにも該当する人

- (1) 渋川市内に住所を有し、現に居住している人
- (2) 運転免許証返納時に満65歳以上の人
- (3) これまでに当事業による助成を受けていない人

3 交付内容（5千円程度、次のいずれかを選択）

- (1) 群馬県共通バスカード
- (2) 路線バス回数券
- (3) タクシー利用券（交付から2年間有効）

4 申請方法

渋川警察署交通課で運転免許証を自主返納する際、申請書に記入する。

資料3

担当：建設交通部都市政策課 課長 松田 忠義 電話0279-22-2073 内線4790

渋川市総合公園陸上競技場のネーミングライツ契約を締結しました

ネーミングライツパートナーを募集していた渋川市総合公園陸上競技場について、令和3年8月16日付でネーミングライツ契約を締結しました。10月1日(金)から、施設愛称の「瑞穂建設スタジアム」を使用することになります。

1 経 過

企業等への広告の機会を拡大するとともに、市の新たな財源を確保することにより、地域経済の活性化および市民サービスの継続的な実施を図るため、渋川市総合公園陸上競技場について、令和3年8月16日付でネーミングライツパートナーを決定し、契約を締結しました。

2 契約相手方

- (1) 企業名 瑞穂建設株式会社
- (2) 住 所 渋川市渋川4413番地1
- (3) 代表者名 代表取締役 篠原 玄洋

3 対象施設と施設愛称

- (1) 対象施設 渋川市総合公園陸上競技場
- (2) 施設愛称 瑞穂建設スタジアム

4 契約期間 令和3年10月1日から令和7年3月31日まで

5 ネーミングライツ料 年額50万円(税別)

参考

渋川市総合公園陸上競技場のネーミングライツパートナー募集経過

- (1) 令和3年6月1日～30日：ネーミングライツパートナー募集
- (2) 令和3年6月28日：瑞穂建設株式会社より申込書提出
- (3) 令和3年7月13日：選考委員会において優先交渉権者選定
- (4) 令和3年7月30日：優先交渉権者との契約締結に係る協議
- (5) 令和3年8月16日：ネーミングライツパートナーの決定及び契約締結

資料4

担当：福祉部高齢者安心課 課長 松下 恵子 電話0279-22-2179 内線1224

世界アルツハイマー月間における認知症に関する普及啓発事業 「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」を開催します

9月は世界アルツハイマー月間です。このアルツハイマー月間に合わせて、認知症の理解を深め、正しい知識を得る機会とするとともに、共生社会の実現に向けた認知症施策についての理解を促す事業を行います。この事業は今回が初の取り組みになります。

1 背景

渋川市は、市、認知症の人、市民等、地域組織、事業者及び関係機関が役割を果たし、誰もが住み慣れた場所で暮らせる地域を実現し、共生社会の実現に寄与するため、「渋川市認知症とともに生きる地域ふれあい条例」の制定を進めており、9月議会で提案予定です。

認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気で、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると推計されています。認知症について正しく理解し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域で認知症の人とともに生きるまちづくりを推進することが重要となっています。

9月は世界アルツハイマー月間になっており、認知症の理解を深めるための普及啓発を推進しています。このアルツハイマー月間に合わせて事業を行います。

2 日 時 令和3年9月13日(月)～17日(金) 午前9時～午後5時

3 会 場 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール

4 内 容

(1) 認知症に関する本の展示

市立図書館の協力により、本人、家族、児童の分野からのおすすめ図書を展示します

(2) パネル展示

(3) もの忘れ相談

(4) パンフレット配布

(5) 動画上映(厚生労働省 認知症本人大使「希望大使」動画等)

5 周知方法

市ホームページや「広報しぶかわ」8月15日号への記事掲載により周知しています。

資料5

担当：市民環境部環境政策課 課長 小林 悟 電話0279-22-2114 内線1140

食品ロス削減推進の動画を撮影しました

食品ロスの削減推進及び市民啓発・意識醸成を目的として、渋川市と群馬ヤクルト販売(株)との協働により、食品ロスに関する動画を撮影しました。
動画は、10月の食品ロス削減月間に合わせて公開する予定です。

1 概要

食品ロスの削減推進及び市民啓発・意識醸成を目的として、食品ロスに関する動画を撮影しました。

動画には、環境政策課の職員2名が出演し、イラスト等を用いて食品ロスについて分かりやすく説明しています。

10月の食品ロス削減月間に合わせて動画を公開する予定です。

2 動画の内容

(1) タイトル 「食品ロス」って何だろう？

(2) 内容 食品ロスについての基礎知識及び食品ロスの問題点を職員が対話や音声による寸劇で視聴者に伝えます

3 撮影協力 群馬ヤクルト販売(株)と撮影・編集を協働で行います

4 動画の公開 10月上旬頃に市公式YouTubeで公開する予定です

5 群馬ヤクルト(株)との協働の理由

渋川市と群馬ヤクルト販売(株)は、平成30年6月7日に連携協力に関する協定を締結しています。群馬ヤクルトは、食品ロスを含めた「食」への啓発活動を幅広く行っています。最近では、YouTube等の動画コンテンツを活用した啓発活動にも力を入れているため、連携により啓発活動を進めるものです。

6 渋川市もったいないの心をもって食品ロスの削減を推進する条例と食品ロスの削減推進への取り組みについて

この条例は、市民・事業者・行政が連携して食品ロスの削減を積極的に推進するため、令和3年4月1日に施行しました。条例では、市民・事業者・行政の食品ロスの削減に対する責務をそれぞれ明記しています。

なお、市は、食品ロス削減推進協議会を5月に設置し、7月に第1回の協議会を開催しました。今後も、協議会等を活用しながら、食品ロスの削減を推進する施策を展開していく予定です。

参考

群馬ヤクルト販売(株)との連携協力に関する協定

1 締結日 平成30年6月7日

2 連携事項

- (1) 健康増進及び食育に関すること
- (2) スポーツ及び文化振興に関すること
- (3) 高齢者、障害者及び子どもの支援に関すること
- (4) 防災、災害対策及び防犯に関すること
- (5) シティプロモーション及び観光振興に関すること
- (6) その他

3 連携事業の実施経過

- ・ヤクルトスタッフが顧客訪問時に、市の保健事業（糖尿病予防講演会等）への参加や検診（がん検診等）受診を案内
- ・市の健康いきいき教室等において、ヤクルトによる健康講座や健康体操を実施
- ・公民館の高齢者学級や女性学級で、ヤクルトの管理栄養士、健康管理士による健康講座を実施
- ・ヤクルトスタッフが業務中に、市民から「防災行政無線が聞き取りにくい」という話を聞いた場合に「渋川ほっとマップメール」への登録を案内
- ・ヤクルトスタッフが業務中に市内を巡回する際に、道路や公園遊具の破損、防犯灯の故障等を発見した場合は、現場写真を撮影し「フォトリポしぶかわ」に投稿
- ・市内小中学生を対象に、「東京ヤクルトスワローズ野球教室」を開催

資料6

担当：総合政策部政策創造課 課長 佐藤 多恵子 電話0279-22-2401 内線2420

「共生社会ホストタウンサミットin福島」に 渋川市が参加します

令和3年9月11日(土)開催の「共生社会ホストタウンサミットin 福島」に渋川市が参加し、本市の共生社会ホストタウンの取り組みを発表するとともに、市長がパネルディスカッションに出席します。

1 概要

東京2020大会を契機とした共生社会の実現に向けた取り組みが、末永く続くための礎を築き、将来にわたりレガシーとして継続・発展させていく機運を醸成するとともに、障害のある人もない人も、共に支えあう共生社会の実現に向けた決意を新たにする場として「共生社会ホストタウンサミットin 福島」が開催されます。渋川市は、共生社会ホストタウンの取り組みを発表するとともに、市長がパネルディスカッションに出席します。

2 日時 令和3年9月11日(土) 午後1時～3時

3 開催形式 YouTube LIVEによるオンライン配信

4 主な内容

- (1) 共生社会ホストタウン等による事例発表（大館市、福島市、渋川市等）
※渋川市発表者：伊香保温泉塚越屋七兵衛 女将 塚越左知子氏、市職員
発表テーマ：まち歩き調査やバリアフリーマップの制作を通じて得られた成果や課題、今後の展開
- (2) パネルディスカッション（上記3自治体首長等）
※渋川市登壇者：渋川市長
- (3) 共生社会ホストタウン連絡協議会（計109団体）等による共同宣言

5 主催等

- (1) 主催：共生社会ホストタウン連絡協議会（福島市、内閣官房、国土交通省など）
- (2) 後援：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

6 その他

- (1) 当日は、市役所本庁舎2階記者会見室からオンラインで参加します
- (2) サミットに関しては、詳細が分かり次第、改めて情報提供を行います

資料7

担当：市長戦略部秘書室 室長 小野 宏伸 電話0279-22-2110 内線2411

渋川市長登庁式を開催します

1 概 要

令和9年9月13日(月)から高木勉市長の2期目が始まるに伴い、任期の初日に登庁式を開催するものです。

2 日 時 令和3年9月13日(月) 午前9時～

3 場 所 渋川市役所本庁舎北側駐車場
(雨天時：渋川市役所本庁舎3階 大会議室)

4 内容(次第)

- (1) 開式
- (2) 祝辞
- (3) 歓迎の言葉
- (4) 花束贈呈
- (5) 市長あいさつ
- (6) 市長退場
- (7) 閉 式

※式典終了後、市議会議長への訪問の後、市長応接室で後援者との懇談を予定しています。

5 出席者 市議会議員、後援会関係者、職員(部長級以上)

6 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 職員の出席者を部長級以上とします
- (2) 出席者はマスク着用。風邪症状のある方又は検温を希望する方には検温を実施します
- (3) 出席者の間隔を概ね1m以上空けることとします
- (4) 手指の消毒をするため、アルコール消毒液を設置します